

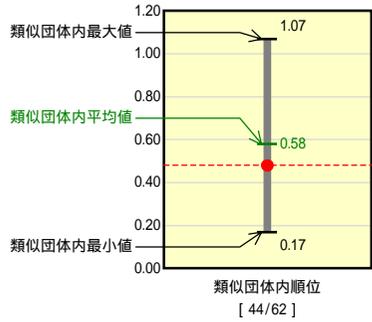
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

宮城県 小牛田町

人口	19,950人(H17.3.31現在)
面積	35.54 km ²
歳入総額	5,904,683千円
歳出総額	5,835,374千円
実質収支	57,755千円

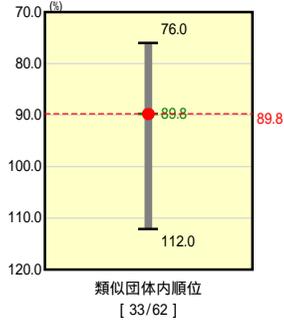
財政力

財政力指数 [0.48]



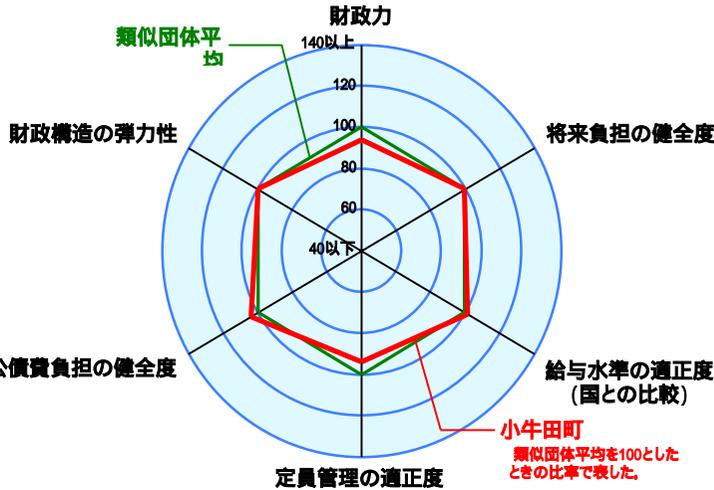
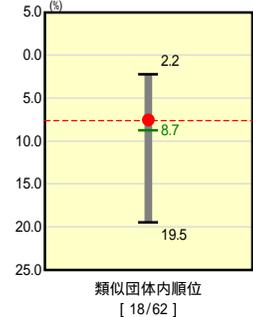
財政構造の弾力性

経常収支比率 [89.8%]



公債費負担の健全度

起債制限比率 [7.6%]



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数

・長引く景気低迷による個人・法人関係の減収などから類似団体平均を下回っている。緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直し(3年間で10%減)を実施するとともに、収収の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

経常収支比率

・投資的事業の展開により類似団体平均となっているが、事業の完了により物件費や公債費などの増加、今後見込まれる扶助費の増加等によって平均を大きく上回ることが予想される。今後も歳出の徹底した見直しを図る。

起債制限比率

・起債抑制政策により類似団体平均を下回っているが、今後の普通建設事業により地方債の増加が見込まれるため、事業の見直しと平準化を図り急激な起債制限比率の上昇を抑える。

人口1人当たり地方債現在高

・近年大規模事業を抑えてきたため、現在のところ類似団体平均を僅かに上回っている程度であるが、今後、駅東開発事業等や学校大規模改修事業を予定しており、新規の地方債発行額が見込まれる。このことから、他事業における地方債の発行の抑制等により、類似団体平均を上回らないよう努める。

ラスパイレス指数

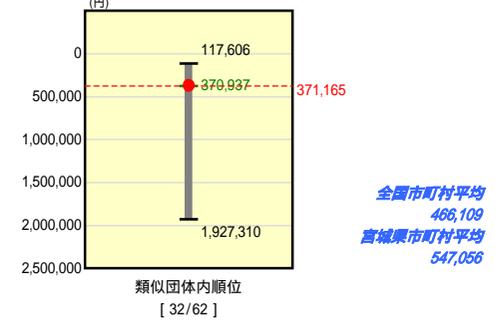
・隣接町との均衡を図り、給与の抑制を行ってきたので類似団体平均を下回っている。今後も各種手当ての総点検を行うなど、より一層の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数

・介護保険や子育て支援事業等に係る専門職の採用により、類似団体平均を上回っている。一般事務職員については採用を抑えている。今後も電算化の推進等により、定員管理の適正化に努める。

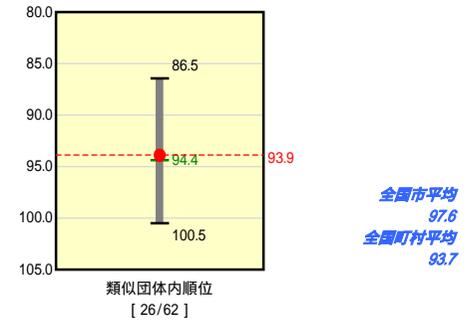
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 [371,165円]



給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 [93.9]



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 [9.22人]

